

第32号 昭和62年 3 月 5 日
発行 者 群 馬 県 山 岳 連 盟
〒371 前橋市大手町1丁目1-1
TEL (0272) 23-1111
群馬県庁観光課内
編 集 群 馬 岳 連 集 委 員 会
責任者 羽 野 順 一
印刷 所 森 田 印 刷
定価 1 部 100円

——高校登山の安全—— 顧問の強化から



常任理事
高体連登山部委員長
村上 泰 賢

凍死も伴ったつきか

「先生、ブアカです」「おれの
も」ロングスパツをつけてい
る生徒の声によく見ると、昨シ
ズン紛失しないようにチャックで
左右をつないでいたものをその
まははいてる。

「これは一枚をはずして一枚ずつ
こつこつと」と教えると「なア
んだ、どうもおかしいと思った
と大笑い。すると「先生、きつ
くチャックがしまらないです」
こんどは「〇〇キロ近い巨体の
生徒、彼の足は太すぎて、念のた
めに用意した山スキー靴用の太め
のものもやはりだめ。まるでカバ
の足にハンカチをまいたようだ。
「しかたがない、お前はさっきのよ
うに一枚つないでけ……」

「ワカンははくにもさらに一騒動
があり、ストックを手によやく
雪の中に踏み出したときは一仕事
終った思いがした。」

その列を見ながら、昨年はじめ
で経験した二年生が後輩をつま
指導すれば顧問は前面に出なくて
すむに……とホヤキが出る。そ

れが出発間きわに旧患露見のキン
シンやら発熱・サボリと重なって
二年生は結局ゼロ。またまたこと
しも一年生だけの冬山合宿になっ
てしまった。

それでも感心なことに一年生だ
けになってもイヤな顔もせず逃げ
もせず合宿にやってきました。設備も
炊事も楽しくできた。

二日目、雪の吹き溜りで雪洞を
掘らせると、はじめて少し要領を教
えただけであとはやらせておいた
らけつこう力をあわせて掘りあげ
た。帰り道、ガスが晴れて雲海の
上のはるか西に北アが光る。「あれ
が白馬で、次が杓子・鍾……」と
教えていると、なかに全開「こ
んな様子生徒がいる。」「おい、わ
かったか……」言いかけて私は声を
のんだ。彼の左右の耳にはそれぞ
れ小さなイヤホンが入っている。
なんと、ウォークマンで音楽を聞
いているのだ。こいつら、吹雪で
死ぬときも伴奏つきか！

この冬の登山の「コマ」である。
こんなドタバタをやっている学校
ばかりではあるまいが、思い当る
える内容と運営

顧問を育てる

高体連登山部に加盟しているの
はいま五十二校六八七名うち女
子二七二名。前途ある生徒の若い
生命を山で失うことのないよう
に、時には身をもって危険を避け
ることも要求される顧問に、ま
ずたしかなる技術と経験を身に
つけてもらうために高体連では各
講習会を設けている。一般山岳会
講習会と異なると登山が好きでな
った顧問は少なく、若いから、
地理や理科だからと押しつけられ
た顧問の方が多い。しかし動機は
どうであれ引率責任は同一に要求
されるのであるから、初心者の方
生にもわかる、ためになる、来
てよかったといってもらえる講習
会が大切だと思つた。

講習会のポイント

顧問むけの講習会を運営する上
でつねに心がけていることは、
① 行つてみたに楽しかったとい
える内容と運営

楽しさといつても、自分を認め
てもらえた。そして自然の中で自
分を解放できたと感じたのしき
が大切である。近ごろは教師にも
無責任・無関心・無感動タイプの
「新人類」を見かけるが、山で自己
を素直にさらけ出すことのできる
人は、生徒にとつてもいい教師に
なるだろうと期待して「新人類」
撲滅をはかっている。

② 充実していた、身についたとい
える内容
生徒にメシを作らせて自分はコ
ンロも扱えないというのは顧問
失格であるから、講習会は幕営を
基本とし班ごとに設備・炊事を手
わけしてするところからはじめる。
その炊事や食事の中で交わす部
の運営や山行の苦労、仕事の悩み
失敗の語りあひが、いつの間にか
自分はこの中の一員であるとい
う自覚を生んでいる。

実技としては、ふだんの生徒と
の山行では対象としない岩登りや
雪上技術の基本をしっかりと身につ
けることで、登山に対する自信を
植へつけようとしている。この部
分では岳連の石井副会長や田中理
事長はじめ多くの方々に世話に
なつてやつてこられた。

れてもつてから——という思惑
から岩と雪上が一年おきになる。
○冬山講習会(二月)
尾瀬富士見峰で雪洞に一泊する
山スキー主体のもので、これに参
加してはじめて顧問をつづける気
になった、という人もいるほど魅
力あるものとなっている。ふつ
の生活ではめつたに味わえない
「雪洞に寝る」という行為を安全に
楽しめてきたことで自信がつくも
のらしい。高体連の海外登山もこ
の講習会で培われたチームワーク
から生まれたといえよう。

海外登山を通して

高体連の通常の年間行事運営に
当る各種委員会のほかに、顧問
の任意加入による海外登山研究会
の活動がある。海外登山の研究と実
施が目的であるが、さらにもう
一つ、登山技術の強化訓練による
ヘルプアップも大切な目的となつ
ている。顧問が「出張でない登山(ワ
ビシイ言葉だが)」をしなくては本
当の力はつかない。ということ
生徒引率の合間をぬつて山行をつ
づけている。夏の北アの合宿や冬
の水壁訓練で若い先生が少しづつ
中堅層に育っている。

これまでの海外登山としては、
一九八〇年インドヒマラヤ・CB
53峰「シャルミ」初登頂、一九
八五年インドカシミールハラムク
山周回トレッキングを行ない、そ
れぞれ報告書にまとめた。

こうした自分の手作りでかちと
つた成果は教育にも好結果をもた
らすものと確信しているが、二存
で頂くようお願い致します。

知のように公務員や教員に對して
厳しい世情となつて、なかなか理
解を得ることが困難な状況もある
何とか次の目標を打ち出して若い
顧問に力をつけさせていきたいと
願つてゐる。

「群馬の山」
販売のお願い
「群馬の山」第一集(尾瀬・武尊
渡良瀬流域)の発刊が、関係加盟
団体の積極的な協力を得て、いよ
いよ四月、発売の段階に至りまし
た。

皆様には、すでに二月末を目標
に、予約募集の働きかけをお願い
してありましたが、取扱いについ
て徹底しない面があり、一部の方
に迷惑をおかけしておりますの
で、下記により取扱へ頂くよう
お願い致します。

一、予約申込：二月末日まで
各会では、三月中旬までにま
とめて、委員ないし事務局ま
で申込んで下さい。
二、販売計画：岳連担当(一〇〇部
各会割割制と致します。
これだけの部数を消化するには
は、予約だけでは完売はむず
かしいので、会員個人用とする
るか、知人を紹介するなどの
方法により、各会にお願いす
る部数を消化してもらいます。
利益は、岳連の活動資金となり
ますので、販売については頑張
つて頂くようお願い致します。

一、予約申込：二月末日まで
各会では、三月中旬までにま
とめて、委員ないし事務局ま
で申込んで下さい。
二、販売計画：岳連担当(一〇〇部
各会割割制と致します。
これだけの部数を消化するには
は、予約だけでは完売はむず
かしいので、会員個人用とする
るか、知人を紹介するなどの
方法により、各会にお願いす
る部数を消化してもらいます。
利益は、岳連の活動資金となり
ますので、販売については頑張
つて頂くようお願い致します。



雪後を行く

この山域は、群馬・新潟の県境をなす長大な上越山稜の西端、長野を加えた三國境に位置する白砂山(二二九九)から北に派生し佐武流山(二一九一)を最高峰として、苗場山(二二四五)から湯沢温泉に至る三米前後の山稜である。東西にはそれぞれ清津川、魚野川の急流をめぐらせて山深く、豪雪地帯に位置している。周辺のスキー場と共に知られている苗場山を除けば、四季を通じて登山者の訪れもくまらなようである。この豪雪山稜の積雪期初縦走は、一九六二年三月十五日、二十二日にかけて石井リーダー(現岳連副会長)堀江サブリーター等六名の会員によって成された。当時は湯沢から芝原峠を越えて、大島部落から和木屋まで一日がかりの行程であったが、今は三俣から

この山域は、群馬・新潟の県境をなす長大な上越山稜の西端、長野を加えた三國境に位置する白砂山(二二九九)から北に派生し佐武流山(二一九一)を最高峰として、苗場山(二二四五)から湯沢温泉に至る三米前後の山稜である。東西にはそれぞれ清津川、魚野川の急流をめぐらせて山深く、豪雪地帯に位置している。周辺のスキー場と共に知られている苗場山を除けば、四季を通じて登山者の訪れもくまらなようである。この豪雪山稜の積雪期初縦走は、一九六二年三月十五日、二十二日にかけて石井リーダー(現岳連副会長)堀江サブリーター等六名の会員によって成された。当時は湯沢から芝原峠を越えて、大島部落から和木屋まで一日がかりの行程であったが、今は三俣から

がくされた山 ②〇

積雪期 苗場—白砂山

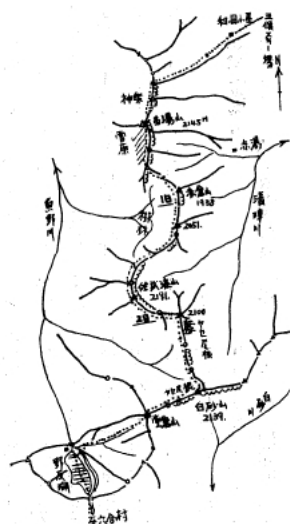
伊勢崎山岳会

第三日 佐武流山 野反湖 シールを利かせた登下降で、二つ程のピークを越すとルートは東向きから南へと向うようになり、益々山は深く悪天になつてもエスケープすることはできない。同時にルートはヤセ尾根となるからアイゼンで慎重に通過する。二〇三五米峰までくれば尾根も広くなり、白砂山も間近に望めるようになり、スキーでの縦走が本当に楽しくなる所である。白砂山頂は、展望が実にすばらしく、縦走コースの最後のピークにふさわしい山容である。しかし、南の白砂沢側には雪庇が発達しているから注意しなければいけない。ここで上越国境稜線と合流し、三國境となる。

第三日 佐武流山 野反湖 シールを利かせた登下降で、二つ程のピークを越すとルートは東向きから南へと向うようになり、益々山は深く悪天になつてもエスケープすることはできない。同時にルートはヤセ尾根となるからアイゼンで慎重に通過する。二〇三五米峰までくれば尾根も広くなり、白砂山も間近に望めるようになり、スキーでの縦走が本当に楽しくなる所である。白砂山頂は、展望が実にすばらしく、縦走コースの最後のピークにふさわしい山容である。しかし、南の白砂沢側には雪庇が発達しているから注意しなければいけない。ここで上越国境稜線と合流し、三國境となる。

この山域は、群馬・新潟の県境をなす長大な上越山稜の西端、長野を加えた三國境に位置する白砂山(二二九九)から北に派生し佐武流山(二一九一)を最高峰として、苗場山(二二四五)から湯沢温泉に至る三米前後の山稜である。東西にはそれぞれ清津川、魚野川の急流をめぐらせて山深く、豪雪地帯に位置している。周辺のスキー場と共に知られている苗場山を除けば、四季を通じて登山者の訪れもくまらなようである。この豪雪山稜の積雪期初縦走は、一九六二年三月十五日、二十二日にかけて石井リーダー(現岳連副会長)堀江サブリーター等六名の会員によって成された。当時は湯沢から芝原峠を越えて、大島部落から和木屋まで一日がかりの行程であったが、今は三俣から

この山域は、群馬・新潟の県境をなす長大な上越山稜の西端、長野を加えた三國境に位置する白砂山(二二九九)から北に派生し佐武流山(二一九一)を最高峰として、苗場山(二二四五)から湯沢温泉に至る三米前後の山稜である。東西にはそれぞれ清津川、魚野川の急流をめぐらせて山深く、豪雪地帯に位置している。周辺のスキー場と共に知られている苗場山を除けば、四季を通じて登山者の訪れもくまらなようである。この豪雪山稜の積雪期初縦走は、一九六二年三月十五日、二十二日にかけて石井リーダー(現岳連副会長)堀江サブリーター等六名の会員によって成された。当時は湯沢から芝原峠を越えて、大島部落から和木屋まで一日がかりの行程であったが、今は三俣から



伊勢崎山岳会紹介

会員の目的は「スポーツ登山の実践を通して会員相互の親睦を計り、人格及び登山技術の向上と組織的發展を目的とし、併せて地域社会の安全で楽しい登山の普及に勉める」と会則に規定している。当会は昭和二十四年、地域の岳人有志によって結成され、昭和二十六年、岳連に加盟し、当時いまだ未開のな山域であった吾妻や、奥利根地方の山々に、探検的な登山を実践し、地域の登山活動の中心的な存在として、その役割りを果たし、地域発展に寄与してきた。草創期の質朴な気風は現在にも受け継がれ、地味ながらもまじめの活動として、春夏秋冬の三合宿を、一貫し跡切れることなく実践している。昭和四十九年には合宿

の延長として、インドヒマラヤに遠征し、無名峰に登頂してピーク「チェットン」と命名した。そして現在昭和六十二年十月に、インドヒマラヤ「トレイル・サガル」に遠征隊を送るべく準備中である。現役会員 十七名
OB会員 二十名 他、OB 連絡先 伊勢崎市山王町二一六 田島忠夫
会長 堀江登志夫

伊勢崎山岳会
インドヒマラヤへ
登山隊を派遣
伊勢崎山岳会では、春夏秋冬の合宿を柱とした登山活動を行っていますが、昭和四十九年の第一次ヒマラヤ合宿以来、十三年ぶりに第二次ヒマラヤ合宿を行うことになりました。皆様は御報告申し上げ、

御指導と御協力を御願ひ申し上げます。
名称 伊勢崎山岳会インドヒマラヤ登山隊・八十七
目的 インドヒマラヤ、ガンゴトリ山域、トレイル・サガル峰(六九〇四米)の登頂。
期間 一九八七年九月十日出国十月十日登頂予定、十月二十日帰国予定。
予備日数 十月三十日までの十日間。
メンバー 田島忠夫隊長他隊員十名。
また、記念テレホンカード二枚一組をしおりにして二〇〇〇円で販売致します。御希望の方は田島(〇二七〇一六二三四五四)までお問い合わせ下さい。
小暮勝義
遺稿集発刊される
二月一日、境町山の会では、テウラギリ一峰登山中遭難死した、「小暮勝義氏の遺稿集」我が青春の山々の完成を記念し、出版祝賀会を開催した。
小暮氏は、岳連の初代海外登山研究会委員長となり、群馬の海外遠征登山の推進者として活躍され今日の礎をきいてくれました。
当日は、県内外から、一五〇名程の人達が参集し、岳連関係も一二〇名もの人達が参加され、故人を偲びました。
なお、遺稿集を購入したい方は、境町山の会 羽野まで
TEL 〇二七〇一七四二五三三 価格、三〇〇〇円

第十回県民登山大会報告

「県民の日」(十月二十八日)

を記念して群馬県内の山を登山し、二、日程

山の自然に親しむとともに登山の喜びを味わい、健康と体力の保持増進を図ることを趣旨に、群馬県群馬県教育委員会、(財)群馬県体育協会、群馬県スポーツ振興事業団、地元松井田町関係機関及び松井田山岳会の後援を得て一般参加者を募集し、十一月二日(日)に裏妙義山周辺で開催しました。

開催当日は、秋晴れの素晴らしい天気恵まれ、また、役員及び参加者の御協力により、事故もなく成功裡に終了出来たことに厚く御礼申し上げます。

一、参加者数 役員七十三名、一般参加者五百五十六名



Cコース帰着、十六時二十五分
Bコース帰着、十六時四十三分
Aコース帰着、十七時
閉会式終了、十七時十分

役員解任式及び日山協功労者表彰式、十七時十五分

三、コースについて
Aコース(奥曲コース、一般向

き)松井田町立西中学校→座泰山山御岳→丁須の頭→鍵沢

→松井田町立西中学校
Bコース(鍵沢コース、一般向

き)松井田町立西中学校→鍵沢→丁須の頭→鍵沢→松井田町立西中学校

Cコース(北鳥帽子沢コース、沢登り)松井田町立西中学校→新井→北鳥帽子沢→中間峰→丁須の頭→鍵沢→松井田町立西中学校

Dコース(並木沢コース、健脚向き)松井田町立西中学校→鍵沢→丁須の頭→中間峰→三方境→並木沢→若宮→松井田町立西中学校

四、成果と次回開催のために
昭和四十三年の第九回大会から十八年ぶりに復帰した大会で一般参加者を募集して開催したところ、参加者から好評であったことや、来年も是非やって欲しいという意見の投書があり、当初の目的を達成したのと思

います。
運営面では、群馬県体を経験した役員が主軸となって活躍したため、短期間の準備にもめげずに成功裡に導いたものがあつたと思います。

募集面では、コースの決定が九月末であつたため、開催要項が遅くなつてしまつたので、早い時期から準備をし、コース決定ができれば報道機関や市町村の広報等に掲載することができ、より募集人員の拡大が図れると思ひます。
資金面では今回は収入十一万四千五百円、支出十四万九千八百円で三万五千円の赤字(岳連持出し)であつたが、寄付金や広告料等の資金も獲得できるならば、ボスターやチラシを印刷することが可能となり、募集人員の拡大が図れると思ひます。
(文責 女屋等志)

一般参加者からの便り

過日の第十回県民登山大会の催し、本当に有難うございました。快晴に恵まれた素晴らしい県民登山をさせていただきました。心より御礼申し上げます。こんな素敵な企画をして下さいました役員の方々やリーダーをして下さいました岳連の皆様へ唯々感謝するばかりです。何卒これからも毎年開催して下さいます様、心よりお願い申し上げます。

岳連の皆様御活躍を祈りつつ県民登山の喜びを心より御礼申し上げます。たたくて拙いペンをとりました。本当に有難うございました。
(高崎市 山口恵子)

先日、第十回県民登山大会で並木沢コースで紅葉の裏妙義山を歩かせて頂き誠に有難うございました。

境町山の会

プロ・リ(七二六二米)へ

境町山の会は創立三十周年を迎え、記念行事としてネパールマラヤ、クーンア山群「プロ・リ(七二六二米)」に遠征計画を立て、二月に正式入山許可が決定し、実行委員会も発足して、最終的な準備に入っています。

ルートは(五二〇〇米)地点には群馬県山岳連盟の方々、その中でも特に海外登山研究会の方達又日山協、その他沢山の関係各位の御指導と御協力があつてのことと深く感謝申し上げます。今後も未経験の私共に対しまして尚一層の御指導と御協力を是非御願い申し上げます。

細部については後日正式な計画書及び「ネロ三十三号」にて御報告致します。

「嶺」の「われ」

嶺とは、万葉集の中に出てくる言葉で、嶺とは、山々・峰々の意味で、嶺とは、親愛・感動の念をこめて使う接尾語です。

万葉集、上毛野国の歌の中に、「久呂保の嶺」(赤城山)とか、「伊香保の嶺」(榛名山)などという風に使用されており、群馬岳連の会報の名にふさわしいものと思ひます。

命名は、前会長の故浜名一雄氏で、同時に揮毫をお願いいたしました。

気象 吉田直人
食糧 篠原敏雄
装備 星野久男
輸送 川崎勝義
記録 後藤文明
医療 高田智博
以上十名 大和 享
五十嵐正英

第10回県民登山大会決算報告

(収入)			
参加料	229人×500円	114,500円	
岳連支出		30,900円	
合計		145,400円	
(支出)			
パッチ代	400ヶ×135円	54,000円	
保険料		4,760円	
品池		14,820円	
看板		6,040円	
通信費	大 12,000円×1ヶ 小 4000×5ヶ	32,000円	
合計		33,780円	
		145,400円	

(馬場智子)

○隊長 大橋良雄

○隊員 登壇リーダー 小暮文彦

宮崎勉(ミヤマ山岳会) カルジヤン初登頂

中国チベット自治区にそびえる
未踏峰カルジヤン(七三二二米)
に挑んでいた日本ヒマラヤ協会隊
(新郷信広隊長)は十月十四日、
十六日と二日にわたって同峰の初
登頂に成功した。

一次隊は新郷信広隊長、友田健
治副隊長、岩崎洋隊長の三人。
第二次隊は宮崎勉登攀隊長、保
坂昭憲隊員の二人。

同峰はラサの南三〇〇キロに位
置し、クラー・カンリ山群三峰の
うちの二峰で、別名クラー・カン
リII峰ともいわれ「神領の峰」と
いわれている山である。

尚この登頂により群馬県体育協
会長表彰個人の部が決定している。
二月二十五日受賞式。

理事会報告

期日 昭和六十一年九月十日
場所 群馬県協同会館
出席 小林、田中、太田、大井、
川辺、岡安、水野、大沢、
西山、高田、村上、松田、
西山、長谷川、石川、富山、
笠原、寺内、黒崎、阿久沢、
女屋、
部会報告
○編集部 今度の嶺邑三十一号
は長谷川常任理事にトップ記事
をお願いした。
○海外登山部 映画植村直己物
語の券販売の利益十一万五千七
〇、県民登山大会について

松井田山岳会で全面的な協力を
していただき会場地として義
に決定したい、又開会式につ
いて、候補コース及び調査につ
いて、等を中心にした臨時理事
会を九月二十九日に開催する。
十月理事会
期日 昭和六十一年十月八日
場所 群馬県協同会館
出席 星野、小林、石井、田中、
太田、川辺、羽野、大沢、
松田、西山、加藤、須田、
笠原、寺内、森田、地野、
〇、自然保護部 八月二日三日
の尾瀬美運動は各会の協力を
得て十八名が参加予定通り行な
いました。黒岩清掃登山十一月
十六日に実施したい。

〇、指導部 第三回ロック・フェ
スティバルを黒岩で九月十四日、
十五日に行なう。
〇、総務部 九月五日七日北海
道二セコで開催された第二十五
回全日本登山体育大会に石井、
太田、女屋が参加。
全日本登山体育大会の開会式で、
日山協功労者表彰で推せんした
十三名全員が表彰される。

表彰者 中島喜代志(水上)、
石井謙一郎(伊勢山)、落合正
(高崎)、岡村隆造(新治)、
田村朝之助(前橋)、小林三
雄(松井田)、布施正昭(高体
連)、千明源三郎(片品)、西
山千秋(沼田)、川辺柳一(境
町)、大井清(前橋)、池沢常
平(群馬青空)、富山真(太田
)、以上十三名。
自然保護部に群馬中高山山岳会
から黒崎通勇さんが推せんされ
ました。

〇、県民登山大会役員編成
行動役員
①鼻曲コース
CL高田、SL阿久沢、伊能
案内河野、松井田山岳会二名、
通信救助隊一名、救護一名
②鍵沢コース
CL水野、SL藤井、町田、
案内木村、松井田山岳会二名、
通信救助隊一名、救護救助隊一
名。
③北馬帽子沢コース
CL竹山、SL長岡、滝田、茂
木、案内佐藤、松井田山岳会二
名、通信救助隊一名、救護救助
隊一名。
④並木沢コース
CL石川、SL松島、森田、案
内佐藤、松井田山岳会二名、通
信救助隊一名、救護救助隊一名
⑤本部役員
大会会長星野、大会副会長中島

小林、石井、小板橋、大会委員
員長田中、総務太田、式典女屋、
受付接待大井、記録須田、会計
富山、通信西山、加藤、長谷川、
医療救護羽野、笠原
十一月理事会
期日 昭和六十一年十一月十二日
(水)十九時 体育会館
出席者 太田、大井、羽野、水野、
高田、大橋、須田、西山、宮崎
笠原、阿久沢、女屋
一、事務局
境町山の会アモ・リ(七二六一
m)登山の岳連援後を承認。
冬山の事故防止について長野県
山岳連難防止対策協会から依頼が
あり、各会へ通知。
谷川岳指導センター十一月三十
日(日)閉所式を行なう。
二、総務部
田中理事長実父田中光一郎氏、
十一月十二日御逝去、十四日告別
式を高崎市市場にて執行。岳連か
ら生花を送る。尚慶市規定を立案
し次の総会で決定する予定。
三、自然保護部
十一月八、九日、日山協自然保
護対策協議会が岡山県玉野市で開
催され、富山、笠原常任理事が出
席。日本勤労者山岳連盟より日山
協へ依頼のあった林野庁のレクリ
エーション山料徴収に対する反
対について協議。賛否両論あり、
各岳連の意見を日山協へ提出する
こととする。
四、国体部(山梨国体の成績)
成年男子 縦走四・九点(16位)
登山三・二点(3位)
踏査六・九点(14位)
賀会について

総合三・六(11位)
少年女子 縦走五・三(11位)
踏査五・四(9位)
前橋市群馬厚生年金会館で祝賀会
を開催した。
総合三・六(11位)
天皇杯・皇后杯得点とも参加得点
の1点。群馬県選手団は、
成男 監督 松田龍彦(前橋山岳
会)、選手 弥野光一(群馬ミ
ヤマ山岳会)、後藤文明(境町
山の会)、中西和弘(伊勢崎山岳
会)。
少女 監督 富田史郎、選手 中
井知代、剣持真美、野村ゆかり
(以上喜喜高)。
五、海外登山部
海外登山研究会では第四次岳連
ヒマラヤ遠征を計画。毎月第3
火曜日、群馬県協同会館で開催。隊
員候補者及び海外登山に興味のあ
る方はご連絡下さい。
六、県民登山大会報告
参加者 岳連役員七十一名、一
般参加者(含岳連会員)一六九名
参加料三九名入金十一万四千五
百円
経費 保険料、看板、通信費、
電池・薬品・消耗品・パッチ代他
支出合計十四万九千八百円。不足
金三万五千三百円は岳連特別会計
より支出。
パッチは四〇〇個作成、当日参
加者二四〇〇個、松井田山岳会に
六〇個、一〇〇個を女屋が保管。
県民登山大会反省会と第十一回
大会準備会を来年一月に行なう。
松井田町および松井田町立西中
学校に感謝状を贈呈。
七、「峻後の四季」出版記念祝
賀会について

カ、熊穴週辺の調査を行なう。
○編集部 ネロ三三号の発行を一
月に予定し、原稿の準備を進め
ている。
〇指導部 日山協の上級コーチ兼
成が二月九日十一日の三日間
山梨県で実施される。
一種指導員の資格認定方法の
内容(三種類)説明
〇高体連登山部 関東ブロックの
記念行事として、二月十三日、
十五日 尾瀬において開催する
ことになった。

〇総務部 県体協の表彰に、宮崎
勉と、沼田女子高チーム・吾妻
高校女子チームを推薦した。
第十一回県民登山大会の会場は
倉沢村の浅間隠山・角落山を予
定している。
〇事務局通信
一、「群馬の山」の申込締切り
は、二月二十八日です。
二、岳連会費未納団体は至急納
入して下さい。

編集後記

悴田編集長の下で何年か編集の
修業したつもりが、昨年六月より
パントタッチをしたとたん自分の
能力の無さを痛切に感じる今日こ
の頃です。
〇海外登山部 今冬のアンナアル
ナ遠征計画を決定、許可済。
〇遭難対策部 今冬は、冬山合宿
していますが、出来上がった会報を
見るとミスの多さにショック
の連続です。今後、中身の濃い、
しかも新しい会報のカラーを作っ
て行くために、会員の方々の御協
力を。
(JH)